

2018年度 事業報告書

(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

2019年10月7日

公益財団法人 SBS 鎌田財団

目次

I. 事業	頁
法人の目的と概況	2
1. 事業活動	
1.1 研究助成事業	3
1.2 奨学支援金制度	4
1.3 次度事業予定	5
2. 情報公開	
2.1 情報掲出等	6
2.2 刊行物	7
II. 管理・運営	
1. 理事に関する事項	8
2. 評議員に関する事項	8
3. 監事に関する事項	8
4. 選考委員に関する事項	8-9
5. 会議に関する事項	9-10
6. 内閣府への届け出等に関する事項	10
7. 寄附に関する事項	10
III. 会計報告	
1. 貸借対照表	12
2. 正味財産増減計算書	13
3. 正味財産増減計算書内訳表	14
4. 財産目録	15
5. 財務諸表に対する注記および付属明細書	16
IV. 監査報告	
1. 監査報告書	18

I. 事業

法人の目的と概況

■法人の目的

この法人は、以下に掲げる事業を通じて、わが国社会の学術および産業の振興・発展と福祉ならびに文化の向上に資することを目的とする。

- (1) 物流の振興・発展に資する学術研究に対する助成
- (2) 物流の振興・発展に資する研究集会、シンポジウム、セミナー等の開催に対する助成
- (3) 学生・生徒に対する奨学金の給付
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

◇事業の趣旨(目的)

・研究助成

物流分野の振興・発展に資する学術研究に対する助成、同分野における研究集会、シンポジウム、セミナー等開催に対する助成を通じて、当分野の学術および産業の振興・発展をもって産業全体の発展と国民生活の向上に寄与することによる社会貢献を目的とする。

・奨学支援金制度

意欲と能力のある学生等が経済的理由により修学を断念することがないよう、学生本人に対して奨学金の給付を行い、教育の機会均等及び人材の育成に寄与し、教育と福祉の向上に貢献する。

■2018年度概況

◇財団の運営状況

2018年度は、運営上特記すべき事象などはなく、おおむね当初の計画に従い事業が遂行できた。詳細はⅡ管理・運営の項を参照の事。

◇事業活動

・研究助成

過去最多の23件の応募があり、2月に開催した選考委員会において9件を採択した。

・奨学支援金制度

奨学支援金制度の応募数は、昨年より19件多い67件に増加した。12月に開催した選考委員会で35名を採択した。(1名辞退により給付は34名)

上記、各事業の助成金を3月の理事会において承認した。

1. 事業活動

1.1 研究助成事業

1.1.1 助成件数と助成額

2018年度の研究助成対象は、2019年2月14日の選考委員会で採択され、2019年3月25日開催の理事会で助成金の交付が承認された。件数と金額の内訳を表1に示す。

表1. 2018年度研究助成(新規および継続)一覧

プログラム	応募件数	助成件数(件)			助成金額(千円)		
		新規	継続	合計	新規	継続	合計
物流研究助成	23	9	0	9	4,499		4,499

1.1.2 採択助成研究一覧

2018年度の研究助成における採択された研究は以下の表2に示す。

表2. 2018年度助成研究一覧

No	氏名(職位) 所属機関	研究課題	助成額 (千円)
1	青山 真大(助教) 静岡大学 工学部 電気電子工学科	輸送機器向け走行中ワイヤレス給電システムに適したモータに関する研究	500
2	横井 のり枝(准教授) 流通経済大学 流通情報学部	物流とマーケティングの統合可能性と方法～マーケティング視点による物流課題解決への取り組み	500
3	渡邊 峻一郎(特任准教授) 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 物資系専攻	スマート物流社会を実現する無線給電 RFID タグにおける印刷プロセス型アンテナの開発	500
4	李 在勲(准教授) 愛媛大学 大学院理工学研究科 機械工学コース	自律移動が可能な手押し台車の開発	500
5	丹下 博文(教授) 愛知学院大学 経営学部	物流業における健康経営の推進に関する研究	500
6	矢野 裕児(教授) 流通経済大学 流通情報学部	水平・垂直連携による共同物流展開に関する研究	499
7	宇田川 真之(特任助教) 東京大学 大学院情報学環 総合防災情報研究センター	災害時の救援物資物流に関する図上演習用教材の研究開発	500
8	原 進(教授) 名古屋大学 大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻	物流用マルチコプタードローンの着陸時転倒防止機構の開発	500
9	村松 大陸(助教) 東京理科大学 理工学部 電気電子情報工学科	物流作業の効率化に向けたパッシブ方式人体通信によるピッキングシステムの開発	500

1.1.3 研究助成金の送金

助成金の送金は以下のとおり完了した。

【送金】 2019年4月19日 9件 合計金額 4,499,140円

1.2 奨学支援金制度

1.2.1 採用件数と給付額

2018年度の奨学支援金制度の対象は、2018年12月13日の選考委員会で採択され、2019年3月25日開催の理事会で奨学金の給付が承認された。件数と金額の内訳を表3に示す。

表3. 2018年度奨学支援金制度(採用件数および給付額)

プログラム	応募件数	採用件数(名)	給付金額(千円)
奨学支援金制度	67	34	10,200(300/1名)

1.2.2 研究助成金の送金

奨学金の送金は以下のとおり完了した。

【送金】 2019年4月5日 34名 合計金額 10,200,000円

1.2.2 奨学生へのアフターフォロー

1.2.2.1 奨学生懇談会

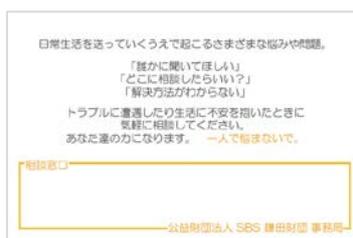
当財団では奨学生同士の交流活性を第一の目的に、毎年奨学生懇談会を開催しております。当懇談会は奨学生の資格を得た者は永年に参加することができます。奨学生たちによる世代を超えたコミュニティ形成を目指しております。



2018年度奨学生懇談会
2018年3月25日(東武ホテルレバント東京)

1.2.2.2 何でも相談“HELP & SUPPORT”

当財団では奨学生が日常生活を送っていくうえで起こる様々な悩みや、トラブルに遭遇したり生活に不安を抱いたときに、一人で悩まずに気軽に相談できる窓口「何でも相談“HELP & SUPPORT”」を開設しています。心理カウンセラーの利用も可能です。



奨学生全員に配布されている
何でも相談窓口の連宅先が書かれたカード

1.3 2019年度事業予定

1.3.1 助成事業

物流研究ならびに物流に係るセミナー・シンポジウムの開催などへの助成(1件当たり50万円を限度とする)の募集を行う。

予定数:6件

1.3.1.1 日程

応募から採択における日程を以下の表4に示す。

表4. 2019年度研究助成募集日程

	2019年			2020年		
	7~8月	9~10月	11~12月	1~2月	3~4月	5~6月
募集要領の決定	→					
募集		→				
選考				→		
採択候補者の決定				▲		
受領者の確定				▲		

1.3.2 奨学支援金制度

奨学支援金制度(1名当たり30万円を一律で給付)の募集を行う。

予定数:40~50名程度

1.3.2.1 日程

応募から採択における日程を以下の表5に示す。

表5. 2019年度奨学支援金制度募集日程

	2019年			2020年		
	7~8月	9~10月	11~12月	1~2月	3~4月	5~6月
募集要領の決定	→					
募集	→	→				
選考			→			
採択候補者の決定			▲			
受領者の確定					▲	

2. 情報公開

2.1 情報掲出等

2.1.1 ホームページ ※一部対象年度以降の情報含む

定期的なホームページの内容更新は下記表6の通りである。

表6. 2018年度ホームページ内容更新一覧

更新月	更新内容
2018/08	・奨学支援金制度開始告知
2018/09	・2018年度 事業計画書および収支予算書掲出
2018/09	・2019年度 物流研究助成の公募開始告知
2018/10	・2018年度 事業報告書掲出
2018/10	・2019年度 奨学支援金制度公募〆切告知
2019/03	・2018年度 新規採択助成物流研究一覧掲出
2019/07	・「2016年度 物流研究助成 成果報告書」発行告知
2019/09	・ページデザインリニューアル

リニューアルされたホームページ

The screenshot shows the homepage of the SBS Kamata Foundation. At the top, there is a navigation bar with the logo and name 'SBS Kamata Foundation' and a menu with items: 'SBS鎌田財団について', '物流研究助成', '奨学支援金制度', and 'お知らせ'. Below the navigation is a large banner with the text '物流の未来を考える' (Thinking about the future of logistics) and a background of colorful geometric shapes. Underneath the banner are two main content boxes: '物流研究助成' (Logistics Research Support) and '奨学支援金制度' (Scholarship Support System). At the bottom, there is an 'お知らせ' (News) section with a list of recent updates, including dates and titles like '2019/10/01 2019年度 物流研究助成の公募を開始しました'.

<https://www.sbs-kamatazaidan.or.jp/>

2.1.2 案内書送付

◇研究助成

全国 国立・公立・私立大学への2018年度研究助成公募開始案内を送付。

送付数:477 送付物:公募開始案内・研究助成申請書類一式・研究助成パンフレット

◇奨学支援金制度

関東7都県の児童養護施設・行政窓口等へ奨学支援金制度公募開始案内を送付

送付数:273 送付物:公募開始案内・申請書類一式・奨学支援金制度パンフレット

2.1.3 その他

◇SBSグループ 広報

・『CSR & BUSINESS REPORT 2018』掲載

事業概要、2018年度採択内容

◇外部情報サービス

・(公財)助成財団センター

刊行物掲出:『助成団体要覧2018』『助成財団 助成金応募ガイド2018』

ウェブ掲出:助成金情報

・NOPODAS(非営利法人データベース)／(公財)公益法人協会

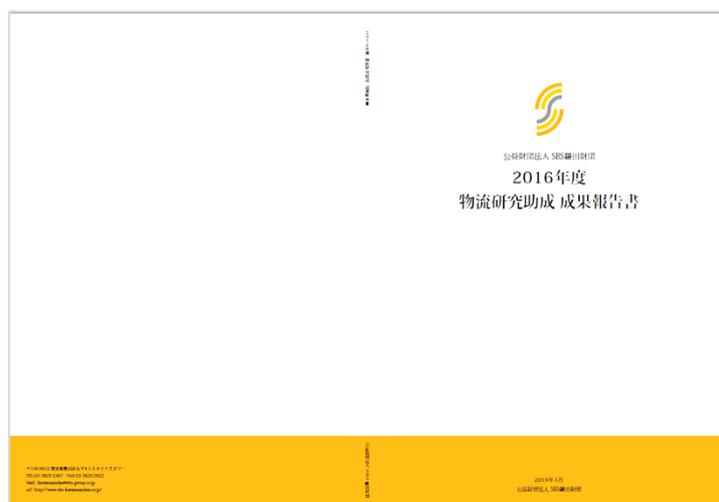
掲出:財団情報および助成金情報

2.2 刊行物

◇成果報告書

「2016年度 物流研究助成 成果報告書」100P

2016年度助成対象(7研究)の研究報告と2017年度新規採択助成研究一覧等を掲載



Ⅱ. 管理・運営

1. 理事に関する事項

理事に関する特記事項はなかった。

2. 評議員に関する事項

評議員に関する特記事項はなかった。

3. 監事に関する事項

監事に関する特記事項はなかった。

4. 選考委員に関する事項

選考委員に関する特記事項はなかった。

5. 会議に関する事項

理事会

開催日/場所	議事事項	結果
2018/9/4 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『2017年度 事業報告及び計算書類並びに定期提出書類』の件 第2号議案 『定時評議員会招集』の件 【報告事項】 代表理事の職務執行状況の報告	原案どおり承認可決 原案どおり承認可決
2019/3/25 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『2018年度 物流研究助成金支給承認』の件 第2号議案 『2018年度 奨学支援金制度給付承認』の件 【報告事項】 代表理事の職務執行状況の報告	原案どおり承認可決 原案どおり承認可決
2019/6/21 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『2019年度の事業計画および収支予算ならびに資金調達および設備投資の見込みについての承認』の件 【報告事項】 代表理事の職務執行状況の報告	原案どおり承認可決

評議員会

開催日/場所	議事事項	結果
2018/9/21 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『2017年度事業報告及び計算書類の承認』の件 【報告事項】 1) 2018年度「事業計画」および「収支予算」について 2) 定期提出書類提出について	原案どおり承認可決

選考委員会

2018/12/13	奨学支援金制度選考委員会
2019/2/14	物流研究助成選考委員会

6. 内閣府への届け出等に関する事項

- ・2018/9/28 事業報告等の提出
- ・2019/6/27 事業計画書等の提出

7. 寄附に関する事項

2018年度に 寄附金を受けた 財産の額	24,719,898 円	うち個人から	5 名	5,300,000 円
		うち法人から	4 社	19,419,898 円

Ⅲ. 会計報告

1. 貸借対照表
2. 正味財産増減計算書
3. 正味財産増減計算書内訳表
4. 財産目録
5. 財務諸表に対する注記および付属明細書

貸借対照表

令和 1 年 6 月 30 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,023,106	1,505,268	1,517,838
流動資産合計	3,023,106	1,505,268	1,517,838
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	6,308,014	6,308,014	0
基本財産合計	6,308,014	6,308,014	0
(2) 特定資産			
助成・奨学事業積立資産	12,373,467	7,600,463	4,773,004
特定資産合計	12,373,467	7,600,463	4,773,004
(3) その他固定資産			
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	18,681,481	13,908,477	4,773,004
資産合計	21,704,587	15,413,745	6,290,842
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	0	10,412	△ 10,412
未払費用	2,155,905	1,468,122	687,783
流動負債合計	2,155,905	1,478,534	677,371
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,155,905	1,478,534	677,371
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	18,573,467	13,800,463	4,773,004
指定正味財産合計	18,573,467	13,800,463	4,773,004
(うち基本財産への充当額)	(6,200,000)	(6,200,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(12,373,467)	(7,600,463)	(4,773,004)
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	975,215	134,748	840,467
一般正味財産	975,215	134,748	840,467
(うち基本財産への充当額)	(108,014)	(108,014)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	19,548,682	13,935,211	5,613,471
負債及び正味財産合計	21,704,587	15,413,745	6,290,842

正味財産増減計算書

平成 30 年 7 月 1 日 から 令和 1 年 6 月 30 日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	167	68	99
基本財産受取利息	167	68	99
受取寄付金	19,946,894	17,068,073	2,878,821
受取寄付金振替額	19,946,894	17,068,073	2,878,821
雑収益	67,585	0	67,585
雑収益	67,585	0	67,585
経常収益計	20,014,646	17,068,141	2,946,505
(2) 経常費用			
事業費	17,514,646	15,304,861	2,209,785
支払助成金	14,699,140	12,300,000	2,399,140
旅費交通費	90,000	0	90,000
通信運搬費	8,610	4,920	3,690
印刷製本費	13,520	642,190	△ 628,670
賃借料	195,931	240,835	△ 44,904
諸謝金	30,000	30,000	0
支払手数料	14,688	12,787	1,901
委託費	2,073,600	2,073,600	0
会議費	10,270	529	9,741
会場費	377,457	0	377,457
雑費	1,430	0	1,430
管理費	1,659,533	1,742,066	△ 82,533
会議費	1,800	9,240	△ 7,440
通信運搬費	6,436	0	6,436
消耗品費	44,800	0	44,800
賃借料	48,983	60,209	△ 11,226
諸謝金	0	73,440	△ 73,440
支払負担金	110,000	163,400	△ 53,400
支払手数料	19,764	7,517	12,247
委託費	1,425,600	1,425,600	0
雑費	2,150	2,660	△ 510
経常費用計	19,174,179	17,046,927	2,127,252
評価損益調整前経常増減額	840,467	21,214	819,253
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	840,467	21,214	819,253
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	840,467	21,214	819,253
一般正味財産増減額	840,467	21,214	819,253
一般正味財産期首残高	134,748	113,534	21,214
一般正味財産期末残高	975,215	134,748	840,467
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	24,719,898	24,668,536	51,362
受取寄付金	24,719,898	24,668,536	51,362
一般正味財産への振替額	19,946,894	17,068,073	2,878,821
当期指定正味財産増減額	4,773,004	7,600,463	△ 2,827,459
指定正味財産期首残高	13,800,463	6,200,000	7,600,463
指定正味財産期末残高	18,573,467	13,800,463	4,773,004
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	19,548,682	13,935,211	5,613,471

正味財産増減計算書内訳表
平成 30 年 7 月 1 日 から 令和 1 年 6 月 30 日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	物流研究助成事業	奨学金給付事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	167	167	0	167
基本財産受取利息	0	0	167	167	0	167
受取寄付金	0	8,032,854	9,414,040	17,446,894	2,500,000	19,946,894
受取寄付金振替額	0	8,032,854	9,414,040	17,446,894	2,500,000	19,946,894
雑収益	67,585	0	0	67,585	0	67,585
雑収益	67,585	0	0	67,585	0	67,585
経常収益計	67,585	8,032,854	9,414,207	17,514,646	2,500,000	20,014,646
(2) 経常費用						
事業費	4,509,182	10,735,501	2,269,963	17,514,646	0	17,514,646
支払助成金	4,499,140	10,200,000	0	14,699,140	0	14,699,140
旅費交通費	0	90,000	0	90,000	0	90,000
通信運搬費	0	8,610	0	8,610	0	8,610
印刷製本費	6,910	6,610	0	13,520	0	13,520
賃借料	0	0	195,931	195,931	0	195,931
諸謝金	0	30,000	0	30,000	0	30,000
支払手数料	3,132	11,124	432	14,688	0	14,688
委託費	0	0	2,073,600	2,073,600	0	2,073,600
会議費	0	10,270	0	10,270	0	10,270
会場費	0	377,457	0	377,457	0	377,457
雑費	0	1,430	0	1,430	0	1,430
管理費	0	0	0	0	1,659,533	1,659,533
会議費	0	0	0	0	1,800	1,800
通信運搬費	0	0	0	0	6,436	6,436
消耗品費	0	0	0	0	44,800	44,800
賃借料	0	0	0	0	48,983	48,983
支払負担金	0	0	0	0	110,000	110,000
支払手数料	0	0	0	0	19,764	19,764
委託費	0	0	0	0	1,425,600	1,425,600
雑費	0	0	0	0	2,150	2,150
経常費用計	4,509,182	10,735,501	2,269,963	17,514,646	1,659,533	19,174,179
評価損益調整前経常増減額	△ 4,441,597	△ 2,702,647	7,144,244	0	840,467	840,467
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,441,597	△ 2,702,647	7,144,244	0	840,467	840,467
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 4,441,597	△ 2,702,647	7,144,244	0	840,467	840,467
他会計振替額	4,441,597	2,702,647	△ 7,144,244	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	840,467	840,467
一般正味財産増減額	0	0	0	0	840,467	840,467
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	134,748	134,748
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	975,215	975,215
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	0	8,032,854	14,187,044	22,219,898	2,500,000	24,719,898
受取寄付金	0	8,032,854	14,187,044	22,219,898	2,500,000	24,719,898
一般正味財産への振替額	0	8,032,854	9,414,040	17,446,894	2,500,000	19,946,894
当期指定正味財産増減額	0	0	4,773,004	4,773,004	0	4,773,004
指定正味財産期首残高	6,200,000	0	7,600,463	13,800,463	0	13,800,463
指定正味財産期末残高	6,200,000	0	12,373,467	18,573,467	0	18,573,467
III 正味財産期末残高						
正味財産期末残高	6,200,000	0	12,373,467	18,573,467	975,215	19,548,682

財 産 目 録

令和 1 年 6 月 30 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金	手許現金	運転資金として	51,916
	現金預金	新生銀行	運転資金として	2,971,190
流動資産合計				3,023,106
(固定資産)	基本財産	現金預金	新生銀行	6,308,014
	特定資産	助成・奨学事業積立資産	新生銀行	12,373,467
固定資産合計				18,681,481
資産合計				21,704,587
(流動負債)	未払費用		税理士法人誠和コンサルティング 他	2,155,905
流動負債合計				2,155,905
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				2,155,905
正味財産				19,548,682

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	6,308,014	0	0	6,308,014
小 計	6,308,014	0	0	6,308,014
特定資産				
助成・奨学事業積立資産	7,600,463	12,373,467	7,600,463	12,373,467
小 計	7,600,463	12,373,467	7,600,463	12,373,467
合 計	13,908,477	12,373,467	7,600,463	18,681,481

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	6,308,014	(6,200,000)	(108,014)	-
小 計	6,308,014	(6,200,000)	(108,014)	-
特定資産				
助成・奨学事業積立資産	12,373,467	(12,373,467)	-	-
小 計	12,373,467	(12,373,467)	-	-
合 計	18,681,481	(18,573,467)	(108,014)	-

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金への振替額	19,946,894
合 計	19,946,894

附属明細書

1. 基本財産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているので作成を省略する。

2. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているので作成を省略する。

IV. 監査報告

1. 監査報告書

監 査 報 告 書

公益財団法人 S B S 鎌田財団
代表理事 鎌田 正彦 様

私監事は、2018年7月1日から2019年6月30日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の調査を行いました。

さらに、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録等の会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

2. 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

- ①事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

2019年9月6日

公益財団法人 S B S 鎌田財団

監事 藤浦 宏史 